

学校



英学必携（明治5年）

ふるさと歴史館第十四回企画展

学问手習之儀

若年之子弟第一に可相励

—教育で見る石岡の明治維新—

石岡



庭訓往来（江戸後期）

平成30年 5月2日(水)～7月29日(日)

午前10時～午後4時30分/月曜休館(祝日の場合は翌日) 入館無料

◇展示解説 5月3日(木) 10時30分から

担当職員が展示の見どころを解説します。(30分程度)

申し込み不要。直接ふるさと歴史館にお集まりください。

石岡市立ふるさと歴史館

石岡市総社1-2-10 石岡小学校地内 Tel:0299-23-2398

# 学問手習之儀 若年之子弟第一に可相励

— 教育で見る石岡の明治維新 —



大日本史(江戸後期)→



←長峰塾の碑 井関地内

江戸の頃、日本の各地に藩校や寺子屋が設けられ、武士も庶民も読み書きそろばんや礼節、時には漢学や国学などを学びました。

今回のタイトル「学問手習之儀若年之子弟第一に可相励」は「勉強第一、一所懸命取り組みなさい」という意味です。常陸府中藩の記録「御家御定書抜」には藩士の義務として勉学に励むことが定められており、石岡でも江戸の頃から教育が大事にされてきました。

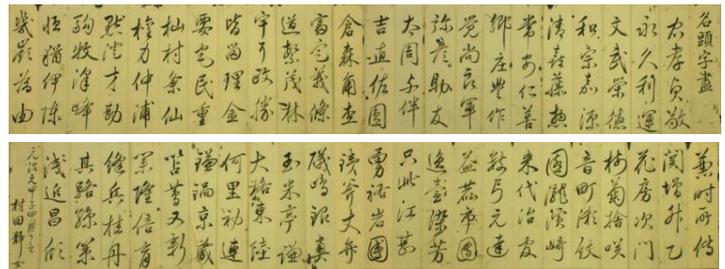
今から150年前の1868年、明治元年を迎えた日本は近代国家として第一歩を踏み出します。「廃藩置県」「地租改正」などと並び、「学制」によって教育も大きく改革されました。

改革の波は石岡にも押し寄せます。別々に発展した寺子屋や学問所から、統一された公立学校へ。校舎や教科書など教育環境が一変しました。

江戸から明治への教育の変化を見ると、明治維新がいかに大きな変化だったのかがよくわかります。今回の企画展では、江戸から明治に向け、石岡の人々が使っていた教科書や学習道具の展示を通して、石岡の明治維新を紹介します。



↑小学理科書(明治20年)



↑名頭字盡(元治元年)



石岡市立ふるさと歴史館

開館時間 午前10時～午後4時30分  
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
交通 JR常磐線石岡駅西口より徒歩約12分  
駐車場あり  
住所 石岡市総社1-2-10 石岡小学校敷地内  
電話 0299-23-2398

